

第2回・第3回ワークショップの意見集約

(シール投票については、特に多くの共感があったもの 多くの共感があったもの に区分し、表現している。)

区域	利用計画案		どのような利用をしたいか(まとめ)	シール投票	どのような協力(関わり)ができるか	シール投票		
A	交通利便性を活かして、高齢者や障害者などの福祉系施設や、多目的に利用できる交流・コミュニティ系施設を整備し、様々な人々がふれあい交流する場とする。 また、ゆとりと潤いあるバス停空間等の整備により多摩堤通りの交通環境を改善する。	交流・福祉系	地域分断からの復活のため、多目的集会施設や地域の交流・コミュニティを活性化する場		・災害時などの支援を、地域で協力し合って行う。			
			地域の人々のために、防災情報発信の拠点機能		・防災情報の共有・提供、施設の維持・管理			
			郷土の歴史を伝承するため、歴史の展示施設					
			休憩所(カフェなどの有料スペースも可)		・散歩などを行い、地域の安全安心を高める。			
			犬のための施設					
			高齢者や障害者などの便利に集まれる福祉施設(区域の拡大を)		・福祉系施設利用者とともにボランティア活動を行う。			
			多摩堤通りの西側について、交通利便性を活かした福祉系利用					
		高齢者の方々に特に配慮する。						
		交通系	バスがきちんと停車できるスペース(バスベイ)を、成城方面と二子玉川方面の両側のバス停につくる。バス停をポケットパークなど潤いある歩行者の待機空間にする。					
			交通安全のため、多摩堤通りの道路拡幅					
多摩堤通りと世田谷通りの交差点の渋滞解消								
			検討区域の拡大(外環事業の喜多見7丁目常設会場のある箇所、野川沿いの土地等)					
B	外環による環境悪化を抑制するため、周辺の公園緑地と一体となった樹林地を作るとともに、地域の原風景やみどりのみずを守り育て、散歩や軽い運動、子どもの遊びなど、人々が憩い交流できる場とする。	みどりとみず・公園緑地・環境系	広く区民の資源となるよう、次大夫堀公園や砧公園、国分寺崖線等との広域的なつながり		・緑の維持、管理に地域の人々が参加する。(次大夫堀公園では定期的にやっている。)			
			外環による環境悪化を抑制するための常緑高木・低木などの樹木の植栽		・周辺の草むしりやごみの清掃、落ち葉の掃除			
			武蔵野の原風景、緑の憩いの場、緑豊かな環境、樹林、みどりのお山		・樹林の管理、清掃、見回り			
			木々に囲まれた何にでも使えるスペース、散策や軽い運動、イベントやバザーなどができる公園		・子どもたちにも、活動の輪を広げたい。			
			軽い運動のできる散歩コース		・ランニングやウォーキングなどで健康づくりを行う			
			木々の中でジョギングや散歩をしたい(全域でコース化する)		・植林活動(苗木の管理)			
			地域住民のための小規模な防災拠点(樹林地内避難)		・ボランティアとしてスペースを使ったイベントなどの企画に参加			
			湧水を活用した親水機能やピオトープ		・農業公園を行う			
			農とのふれあい(農業公園): イモ堀、花畑、どんぐりひろい		・環境状況を定期的にチェックし、発信する。			
			つながりの場として、子どもの遊び場、運動施設		・立ち入る人や遊びに来る人に注意を呼びかける。			
			公園利用者や地域住民が憩えるために、若い人も集まる小さなカフェやショップなどの設置も考える。					
			人々の交流する広場(バーベキュー広場など)					
			ドッグランなど犬のための施設(周辺の住民等への配慮によりこの場に集める。)					
			犬の飲み水場(国分寺崖線からの湧水利用)					
風向きなどの環境観測ができる彫刻、吹流し(環境観測施設)								
C	喜多見小学校の第二校庭や、地域住民も運動ができる場所として整備する。 また、災害時の防災備蓄倉庫等として利用する。	学校施設・運動施設系	学校施設		・運動スペースを利用する(学校の利用を優先する)			
			学校の運動施設(第二校庭)(体育館)ただし、大気汚染対策、交通安全が大切		・イベントを行う、企画する(ママサークル、子ども会)			
			児童や周辺住民も利用できる運動スペース		・防犯対策、交通安全の見守り			
			健康遊具のある施設		・見守り散歩、散歩でパトロール!			
			子どもの遊び場と高齢者サロンで世代間交流を図る(人が集まるよう、明るくきれいに整備)		・施設のメンテナンス			
			木質のぬくもり、クリーンな場所		・健康啓発			

区域	利用計画案		どのような利用をしたいか(まとめ)	シール投票	どのような協力(関わり)ができるか	シール投票	
		防災系	災害時の資材置き場(トイレ、発電機) がれき置き場		・防災訓練、備蓄物の点検		
			防災施設				
自転車置き場							
工事車両等悪影響が出ない整備							
		にぎわい系	雇用、にぎわいの創出のために、ものづくり施設をつくる。		・地域の商業、事業者からの意見も聞いてみる。		
D	野川の水害対策のための調整池、地域の拠点的な防災備蓄機能、災害時に多目的に利用できるように緑地広場など、防災系の利用を行う。 また、広域的な交流の場となる「道の駅」として利用する。	防災系	調整池		・調整池の存在が、住民の水防意識の啓発、ひいては水害時の安全対策につながる		
			調整池機能				
			災害に備えて地域の拠点的な防災備蓄倉庫や避難の場(野川の両岸からも入りやすい)		・備蓄倉庫の開閉		
			何も作らない緑地公園 (東名高速道路の事故や災害時にどのような形にも使える場所として残しておく)		・他地域での災害時には、東名高速を活かして備蓄物資を提供するための支援を行う。		
			(野川沿い)水害に対する安全対策や親水性確保のため、調整池と親水広場				
			(C寄り)防災倉庫、レンタル倉庫、自転車置き場				
		道路を整備し、歩行しやすい道路					
			交流系	雇用やにぎわい、地域防災のための「道の駅」		・地域の事業者や周辺の農家、また子ども団体(子どもの作品の展示スペース等として利用する)等と連携して、運営に携わる。	
		地域の農業と連携した広域的な交流の場					
		全域	大気汚染や騒音などの環境観測の設備を設置する。 また、全域で緑地や水辺を創出してネットワーク化する。 更に、誰もが安全に通行できる道づくりや、にぎわいや雇用確保など地域が活性化するための検討を行う。	みどり・みず・環境系	環境観測設備を設置し、観測結果(PM2.5、地下水、騒音等)が一目で分かるようにする		・きれいに利用する ・上部空間等に植える苗木の育成、管理
大気汚染対策(学校付近の環境観測)							
外環ランプのアンダーパス部分のドーム化							
回遊性を意識した散歩コースの設定							
水の利用(湧水、野川への親水性)							
野川沿いの桜							
環境を守る高木等の植樹など							
上部空間等の全域を使って、みどりとコミュニティが連携する場							
防犯に配慮する							
交通系	シニアカーなども通行できるような、人が優先する道づくり						
	喜多見小学校近くの信号や横断歩道の設置、交通規制						
	機能補償道路()沿いに遊歩道を設置						
	機能補償道路に通過交通が侵入しないような工夫が必要						
	安全な道路体系とする(通過交通は困る)						
	交通の不便さを解消するため、自転車道の整備や、コミュニティバスや乗り合いタクシー等を活用した公共交通システムの整備を図る。(地域特性(自転車社会等)を活かした先進的道路交通)						
にぎわい系	にぎわいや雇用創出のため、また防災や減災、環境負荷低減のため、ソーシャルビジネスなど地域振興のための「喜多見特区」の検討				・まちづくりに地域の人々が参加する。 ・地域の人々の雇用の場となる。		
	多摩堤通り沿道の用途地域を、にぎわい施設が立地できるよう、変更を検討する。						

機能補償道路とは、外環事業により分断される道路が担っていた機能を補償するため、外環事業者が整備する道路です。